

轉てん 教ぎょう

4

2022
Apr

信のとびら

いつもどんなときも

4月のご奉公のすすめ

4月のお寺の行事予定

2月のご奉公日誌

私のよろこび

ステージ4を乗り越えて

激変した日常生活

父親の背中

光り輝く黄金の間

よろこび*のお講席風景

「信者仲間への感謝」

「お助行」根緒泉溪

こどもたちの会

身についた徳は離れない



佛立本旨講妙應寺

モデル：イグアナのブルるん

いづもどんなとさきも

コロナで思うように活動出来ない日々が続き、いつ収束

するか二年たった今でも、皆

目見当が付きません。思う様

にご奉公出来ない、こんな時

だからこそ、お寺では、今ま

でやってこなかったことを取

り入れています。ご奉公の幅

を増やす新たな試みとして、

YouTube や Twitter の協力を

お願いしているのもそれで

す。ホームページも、刷新し

ましたので、是非ご覧下さい。

開導聖人は、悪条件こそ功

徳を積むには最適だと仰せです。

ご教歌に

へ道遠く 雨降る時の 参詣は

信心つよき するし也けり

とお示しですが、これは参詣

に限ったことではありませ

ん。ご奉公のしにくい悪条件

を乗り越えて功德をつむ尊さ

を、雨降りの参詣に例えてお

詠み下さった非常にポジティ

ブなご教歌です。

家族に信心をどのように伝

えるか、これは、我々信徒に

課せられた命題です。しかし、信者としての心構えを伝えよ

うとしても、なかなか進まな

いのが現状です。そういう時

は、伝えるテーマを考えてゆ

きましょう。おのずと信心の

心得を身に付けることが出来

てくるものです。信心を伝え

る相手にうまく伝わらないと

きは、他の方の力を借りて、

臨機応変に対応していきまし

よう。

このご教歌のお題に、

「娑婆一日の修行は極楽百年

の功德にすぐると」

とされるされています。極楽百年の修行よりも、現世で一日ご奉公した功德の方が大きいということですよ。

子や孫、親族、教区内信徒等々伝えるべき相手はたくさんいますが、なかなか取っ掛りがなくて困っている方が多いようです。しかし、困難な道のり程功德は大きいと教えてくださっていますから、信徒一同、この時こそ功德の積み時だ、と、悦んで弘通活動を積極的にやっつけていきたいものです。

コロナで、お寺参詣もお講

参詣も出来ない。お助行が出来ない。色々出来ないことはかりのようです。けれど、それを乗り越えようと、様々な方法を苦心して捜し、ご奉公していきましょう。

日蓮聖人の御弟子、六老僧の一人日頂上人の母、みょうじょう妙常という方のお話です。

文永九年五月、鎌倉から日蓮聖人が流刑されていらつしやる佐渡へ参詣されました。幼い子供を抱えて一か月もの旅です。日蓮聖人にお仕えしご法門を聴聞したいという信心一筋に燃えていました。だからこそ、道中の困難をもの

ともせず、罪障消滅と喜んで命懸けで参詣されました。

日蓮聖人はこの妙常の姿をご覧になり、「日本第一の行者の女人也」と仰せになって、日蓮聖人の法号を授けられました。

時代は変わっても、悪条件を乗り越えて、ご奉公させていただきますことで、罪障消滅させていただけることは同じです。より良いご奉公に向かつて、今一度、自分の出来るご奉公は何かの見つめなおしてください。

令和四年度のご奉公よろし
お願ひします。

4月のご奉公のすすめ

今月のご奉公テーマ「助行」

令和4年度のご奉公テーマは「助行」です。信者どうしが互いの家を訪ねて題目口唱の応援

をする助け合いを「お助行」と言います。教区内にお助行し合う習慣をつけて、他人の苦しみ

を救う菩薩行の輪が広がってゆくようつとめましょう。

今月の「随喜轉教」

佛立本旨講総啓願

人の幸せを祈る信者になります
家族にもお講参詣をすすめます
お初穂の精神を家族で共有します

佛立本旨講弘通隆昌発展
信行相續ご奉公成就

4月より総誓願の色が変わります。班内にきちんと行き届くようご奉公させていただきましよう。新年度の始まりは「どんな問題も御宝前にご祈願を立

てて乗りこえます」のお講席唱和通り、家族中で祈願を立てお看経に励みましよう。



六角堂の梅
R4/3/3 信淨師撮影

来月の「ご奉公のポイント」

一、日歡上人祥月御命日法要

5月29日 日 10時30分より、日

歡上人祥月御命日法要が奉修されます。明治二十三年、第四世

日歡上人より乗泉寺住職を任された日歡上人は、就任早々から

寒参詣を始められ、それが次々とお教化ができるご利益とな

り、乗泉寺の弘通は急激に発展したのです。報恩の思いで祥月御命日法要に参詣させて頂き、ご弘通を盛り上げる良い機会とさせて頂きましよう。

4月の寺内予定

日 程	行 事	時刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間 高祖御生誕八百年関連動画の視聴（ご法門のまえ）	
1日	金 開講本旨再興祈願総講	10時半
2日	地区・連合・教区・事務局辞令伝達式・ 令和4年度ご奉公の誓い（信徒代表）	
	土 運営会議	9時半
	新参事会	10時半
3日	開導会奉修本部会議	11時
	日 評議員会（正・副議長選挙）	9時半
13日	水 開講本旨再興日尚上人祥月御命日法要 奉修費奉納、御塔婆・参詣人数申込締切	
	高祖大士御命日総講	10時半
17日	日 開導聖人御命日総講（併修 日尚上人祥月御命日法要、 佛立本旨講創立記念式）	10時半
	六角堂奉告式	13時半
25日	月 門祖聖人御命日総講	10時半
	令和3年度後期納金表提出締切	
29日	金(祝) 立教開宗記念5時間口唱会	9時半

コロナ禍対策として、連合幹事会、後継者育成連絡会、口唱会は中止いたします。

●妙應寺チャンネルの活用を

お会式の無事奉修祈願朝参詣週間に併せて奉修している連合毎の分散参詣、昨年11月、今年2月の開講本旨再興祈願朝参詣週間に合わせて開催した信徒講習会では、妙應寺チャンネルの動画を視聴しました。

「内容がよくわかる」「初めて観ました」という声に励ませて、今月より毎月1日～7日の朝参詣週間にビデオを上映いたします。7時45分からのご法門前に数分間のビデオで、様々なテーマをご用意いたします。

YouTubeでのライブ配信で朝のお看経をされている皆さんも、この時間、本堂お参詣の皆さんと共に映像をご覧ください。

他人の幸せを願う菩薩行を

門祖会・御導師のご法門より

◆門祖会 2月27日

19日から繰り返し返し分散参詣をさせていただき、日蓮聖人の御遷化後百五十年間、京都に門祖聖人によって本能寺が建立されるまでの、歴史について映像を通じてご覧いただきました。

改めて振り返りますと、日蓮聖人が御遷化になった後、京都

で続々とお題目のご利益が広

まった一方で、諸宗からの弾圧でお寺が破壊されるということがあって、それをなんとか盛り返すのですが、また、破壊されるという歴史を繰り返して、ようやくご利益のいただける信心が保たれるようになりました。

これを考えると、妙法のご利

益がきちんと伝わってきたということが、いわば奇跡的なことです。命がけて闘って守り抜いてきたのです。

門祖聖人は御持念誦文で教えが曲がらないように、教義を要約して残していただきました。

このような先師聖人のおかげで、ありがたいという気持ちで唱えるだけでご利益がいただける、という身の上にさせていだいたということを、改めて見つめなおしたいと思います。

更に、どんどん掘り下げて、他人の幸せをねがう菩薩行に全力を投入する、それをもって生涯の生きがいにするんだという気迫を、門祖聖人のお会式を通じて振り返らせていただければ、ありがたいと存じます。



令和4年2月行事報告

日 程	行 事	時刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間・妙應寺チャンネルビデオ拝聴	
1日	火 開講本旨再興祈願総講	10時半
5日	⊕ 運営会議	9時半
	財務委員会・評議委員会	10時半
	寒参詣終了（御礼参詣）	
6日	Ⓜ 高祖御降誕会総講（高祖大士御命日総講を併修）	10時半
13日	日 門祖会奉修費・御供米料、お花料締切	
17日	木 開導聖人御命日総講	10時半
19日	⊕ 門祖会分散参詣 参詣当番 杉並連合	7時
20日	Ⓜ 門祖会分散参詣 参詣当番 西部・千葉連合	7時
20日	Ⓜ 門祖会無事奉修祈願朝参詣週間（～26日）	7時
21日	月 門祖会分散参詣 参詣当番 目黒世田谷連合	7時
22日	火 門祖会分散参詣 参詣当番 渋谷港連合	7時
23日	水 門祖会分散参詣 参詣当番 都中里連合	7時
24日	木 門祖会分散参詣 参詣当番 かながわ連合	7時
25日	金 門祖会分散参詣 参詣当番 多摩連合	7時
26日	⊕ 門祖会分散参詣 参詣当番 品川連合	7時
27日	Ⓜ 門祖会（代表参詣）	7時
28日	月 令和4年度地区・連合・教区・事務局役員申請締切日 本堂護持御有志申込締切	

コロナ禍対策として、連合幹事会、後継者育成連絡会、口唱会は中止いたしました。



◆高祖御降誕会総講

特別企画として、平成23年れんげまつりで上演した「日蓮聖人」（写真⑤）のビデオ記録を鑑賞しました。

主役・日蓮聖人役の山本久男さんは、当時のよもやま話をご披露。13人の素人役者さんが苦労した話、特に、悪役になり切れないご信者さんに演出家の先生が苦勞した話、セリフを覚えるのに必死で山手線を乗り過ぎた失敗談などが語られました。

本編はホームページから視聴できます。

信者仲間への感謝

◇長いブランクを乗り越えた◇

杉並教区

菊池ひとみ

ご信者の家に生まれた私は、母とお寺参詣をしたり、高校生の頃、青年会でご奉公をさせていただきました。それから五十年以上になりました。それから三十年程暮らしておりまして、日本に帰ってからは、生活環境にも中々馴染めず、信心の事も分からない事だらけでした。

母にも相談出来ずに精神的に落ち込んでいた時、ご信者さんから色々とお話を聞いて、少しずつ心の落ち着きを取り戻して行く事が出来ました。その後も

信心で乗り越えて行く方法を、丁寧に教わり、今ではご信心を続けて来て本当に良かったと、心から感謝しております。

◇パワハラがなくなった◇

渋谷港教区

岩井康則

長女より先輩のパワハラについての相談がありました。

まずは、お寺参詣。先輩の関係有縁無縁のお塔婆の建立と回向。そして、毎朝1分でも2分でも良いのでお題目を唱える事をする様に教えました。

今年に入り長女に聞いてみると、先輩は何も言わなくなったそうです。これからも、毎日、お題

目を唱える事と毎月お寺参詣をさせていただき、相手のお塔婆建立をして、ご回向を続けて行く様に話してあります。

◇妙應寺にお誘いいただいた◇

千葉中央教区

長山正子

日尚上人の元へ帰属させていただきかけを下さったご信者さんにはとても感謝です。また、主人も私も沢山のご信者さんに応援祈願助行をしていただいて、大病を乗り越える大きなお計らいを御法様からいただきました。

主人は、下咽頭癌を発症し、レベル4でしたが、薬で3センチの癌がすっかり消えて無くなるという



う病院の先生方も驚かれるほどのご利益をいただきました。

私は、重度の大動脈弁狭窄症でした。弁置換手術・僧帽弁形成術・弁輪拡大の手術をうけました。明日をも知れない余命一年との診断でしたが、良い先生にご縁をいただき、全てのタイミングがピッタリで無事に手術成功のお計らいをいただきました。

私も心を込めてご祈願・お助行をさせていただきたく大切さ改めて教えていただきました。

◇早くお寺参詣が出来るように◇

所沢教区

北島吉枝

2年前に主人が亡くなつてから、励ましの言葉を本当に沢山かけていただきました。ある方は、気分転換にと食事に誘って下さい

ました。久しぶりの外食だったし気持ちも塞いでいたのでとても嬉しく美味しくいただきました。心より感謝しております。

また、足と腰の悪い私を氣遣つて久米さんご夫妻は、毎週のように買い物に車で連れて行って下さいました。買う物をメモしてスーパーに行つて楽しみながら買い物できました。感謝の気持ちです。

◇信者仲間の謙虚さに学ぶ◇

大井大森教区

山本久男

私が帰属させていただいた当時は、父親がご信者さんにお世話になりました事のお礼として、このご信心をさせていただこう、という思いが強く、ご信心が何であるかは理解していない状況でした。

当然ながら形ばかりを追いかける信者でした。

その内、連合のご信者さんの何人かの方が、何か問題にぶつかると毎に、先ずはご宝前で「お看経」をいただく姿を見せていただきました。今まで私の生き方では考えられない光景でした。

その後ご奉公をさせていただいているうちに、「御継りおすが」「お敬い」という事を度々耳にするようになりました。

とかく慢心しながらの生き方で、まかり通る世の中です。この「謙虚」に生きることが、見せていただきました「信者仲間に感謝」をさせていただきます。

この想いを忘れないようにさせていただきます、今後共にご奉公に邁進させていただきます。

ステージ4を乗り越えて

杉並教区 Eさん

りして出来る限りのご奉公をさせていただきます。今日、主人の今日命日です。本当に私は幸せです。

6年前に乳がんのステージ4

これからも、御法様におすが

激変した日常生活

練馬教区 Sさん

で手術もできないと分かり、もう、あとどれくらい生きられるか分からない、最期かもしれない・・・と思い、その年の妹の甲お講の席主を代わってもらい、奉修させていただきます。

朝参詣等のスマホライブ配信はご信者に定着したただけではなく、朝7時前の配信も皆さんのご協力で開始しておりました。

だろうと思いましたが、多くの方から「毎朝ありがとうございます」と声をかけていただくと、明日

そして、まだ元気なうちにできる限りご奉公を、と思い、広島や水戸など地方教区の甲お講や連合のご奉公などさせていただいております。

しかし、昨年中頃から切り替えたYouTube配信は、技術的な課題もあり、誰でもご奉公できるわけではありません。その

も頑張ろうという気持ちがあり、何よりも、それまで話したことのない多くの信者仲間とも知り合う機会が増えました。

そうしているうちに気がつく、もう6年経っています。大勢の皆様の応援祈願をいただき、おかげ様で体調もよく日々を送っています。

為、7時前にライブ中継を始めるために、4時半に起床し毎朝5時50分に家内と一緒に家を出る生活が始まりました。

今日は何をして過ごすかと悩むことなく、ご奉公で規則正しい毎日をおくることで健康にも恵まれ、良い一年を今年も過ごせたらと思います。

最初、毎日はとても続かない

私のよろこび

父親の背中

品川教区 Hさん

私が子供のころは、毎日忙しく働いていた父と、休日出かけた思い出は旅行や遊園地ではなくお寺参詣とお墓参りです。当時から私は何の違和感もなく、今ではいい思い出です。

リタイア後は、母と一緒にお寺参詣、お講参詣やお助行と、それはもう喜んでご奉公をさせていただいておりました。

それが32年前、突然の事故で、一家の大黒柱を失う事となりました。特に思うことは、もともと一緒にお寺参詣やご奉公をさせていただけたらどんなに楽しかったのか、相談事もできたのと残念でなりません。

光り輝く黄金の間

千葉中央教区 Iさん

今は父が導いてくれた正しいご信心の教えに基づき、喜んで

12月5日、主人が小腸穿孔しょうちようせんこうの為に入院の折には、沢山の方々に心のこもった応援祈願お助行を頂き、本当に力強く感じられて、私もへこむことなく退院まで持ちこえました。

全身麻酔で手術中、主人は光り輝やく黄金の間に大勢の人に迎えられ入って、その人達も、黄全色なので天国にきてしまったのかな？と思ったそうです。退院後に、二人で話していた

ご奉公させて頂くことが何よりの恩返しと思っております。それから、誰かに素晴らしいご信心の教えを伝えられるよう一杯ご奉公させていただきます。

ら、いろんな思いがけない事が・まず、日曜日なのに外科部長に手術してもらえた事。CTを撮った時には、小腸に穴が空いていて、そこに骨と同じ白い物が刺さっているという事でしたが、実際にはそのような異物はなく「やはり、これはお計らいだったね！」と主人の口から聞いた事は、信心をしていたから頂けたとうれしく思いました。

あらたにご本尊を下附

2月17日にSさんが新たに御本尊を下付されました。

Sさんは、ご主人がお亡くなりになったものの、お墓もない状態でした。

息子さんが、随歡師の友人だったこともあり、ご回向の大切さを理解して、ご自宅に御戒壇を建立されました。



献花奉納の喜び



私は岩手県水沢に住んでおります。母そのが長年この水沢親会場でご奉公させていただき、昨年10月に帰寂しました。

数年間、介護施設に入居してから、姉と共に御尊像のお綿かけご奉公も二人でさせて頂いたくようになりました。

これからは家族にも手伝ってもらいながらご奉公させていただきます。

(妙証会 Tさん)

スマホ便利アプリ

紹介コーナー

⑨ ラインの便利な小技

「自分のライン友だちを知らせる」



友だちのラインアカウントを、第三者に教える方法です。

① 伝えたい友だち(第三者)のトークルームを開きます。

② 左下の+をタップし、表示から「連絡先」をタップします。

③ 「ライン友だちから選択」を選び、第三者が知りたい友だちを選択して、右上の転送をタップして終了です。

④ 相手側(第三者)のトーク上には、送信したアカウントの連絡先ボタンが届きます。そこをタップするとプロフィール画面が表示され、追加をしたり、トークがスタートできる仕組みです。

今年度のテーマ 「お助行」



本年は「お助行」のご奉公に力を入れて

勧めて参ります 根緒泉溪師

人は「生・老・病・死」という、逃れ難い苦しみを背負って生まれてきていると、仏様はお説きになっております。これは病気に限らず、生きてゆく上での苦

労や、老いの苦しみ、或いは死と言ったこと等ですが、しかしこれらの苦しみを消滅してくだ

さる、妙法のお題目をお説きになり、このお力を頂いて、お互い喜びの生き方が出来るように仰せです。

「以信得人」に記載されている御利益談ですが、山村弥助の家内は、三年前から子宮の病を患って、医師からはもう治す薬は無い、このままでは労咳（肺結核）になってしまおうと言われました。弥助さんはこうなったらもう、妙法のお題目にするしか方法は無いと、仲間の信者方に病気全快のお助行をお願いして、一心に口唱に励んで御継りしました。すると三日目には子宮の病が治る御利益を頂く事

が出来たとの事です。

この御利益談で随喜する事は、いざという時には御信者仲間がお助行して、お題目をお唱えする事によって現証の御利益で助けて頂き、喜びの果報を頂く事が出来るのですから、これこそ人を助ける尊い菩薩行と言う事が出来ます。

開導聖人は「おのが身をいれることかと思ひしに 人を助くるそれが信心」とお示しのように、このお助行で人の苦しみを除滅して、生きる喜びを与えるこの菩薩行こそ、仏様のお心に叶った御奉公になります。

今年はこのお助行で、菩薩行の大功德を積ませて頂きましよう。



六角堂の夕日
R4/3/2 信浄師撮影

☆こどもたちの会☆

「身についた徳は離れない」

	<p>⑥ 暮らする事ごとく、災難もなくなり、健康に恵まれ、守るより、お金のより、家名や家の評判を守り、大徳な徳を身に付けたいです。</p>	<p>ありがとうございます！いつもお参らせてくださいますね！僕も見習わないと。</p>	<p>① お兄さん、お姉さん、ありがとうございます。</p>
<p>家族皆が平穏に暮らす為には、自分が過去世から持っている罪障を無くさなくてはなりませんからね。</p>	<p>⑦ そうなんです!! せっかくのご信心に出会えたのだからね。</p>	<p>それは本当にご利益ですね!</p>	<p>② いえいえ、お陰様で商売も上手く行き、家族も皆健康でありがたいです。</p>
<p>そうですね、他にもすすめるご奉公を僕も励みたいです!!</p>	<p>⑧ ご利益が頂ける様に、ご弘道ご奉公に励みたいですね。</p>	<p>来世まで持って行く事はできません。</p>	<p>③ お金をどんなに貯めても、死んでしまつたら終わりです。</p>
<p>そして自分の罪障が少しでも消える様に、このご信心を伝えていきたいです!!</p>	<p>⑨ ワオ!お兄さん、本当に素晴らしいですね!!</p>		<p>④ また、お金がどんなにあっても健康にならなければ、楽しく暮らせないでしょう。</p>
<p>そして皆が幸せに暮らして行ける様に、頑張りましょうネ!!</p>	<p>⑩ 僕も、妻や子にしっかりとこのご信心を伝えます!!</p>		<p>⑤ 子孫に残したとしても、それが元となつて返つて新しい苦しみかもちらされる事もあります。</p>

※御教歌：己が身につみし功德は火にもやけず人もぬすまず持て行なり

今年は特別寒さが厳しい一月でした。

一ヶ月間寒参詣ご奉公いただいた方々に御礼申し上げます。

半ばごろからのコロナ感染症第六波が始まり、いまだ終わりが見えませんが、多くの人が頑張つて頂き無事寒参詣ご奉公成就させて頂く事が出来ました。ありがとうございます。

まだまだ、寒さ、コロナ感染症が継続されますが、健康に気を付けてご奉公させていただきしょう。ありがとうございます。

(寒参詣最終日のご挨拶より)

事務局 局長 山本久男



轉教

令和4年4月1日発行 第24巻第4号 通算266号

編集兼発行人 山本久男

発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11

TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人